

平成28年10月26日

学校関係者評価報告書

東海医療科学専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人セムイ学園 東海医療科学専門学校 学校関係者評価委員会は「平成27年学校自評価表」の結果に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

「学校関係者評価」の実施方法について

学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施し、学校関係者評価委員に評価していただいた。学校自己評価表（平成27年版）と併せてご覧ください。

- 1 実施日：平成28年8月27日
- 2 学校関係者評価委員

氏名	所属
齋藤友久	碧南クリニック 事務長
林屋裕二	みずのクリニック 透析センター長
内山貴博	医療法人 並木会並木病院 作業療法士
熊澤 輝人	愛知県理学療法士会 理事
加納崇希	若田接骨院 柔道整復師
山田賢太郎	医療法人いつき会いつきクリニック一宮 臨床工学技士部長
加藤由理	辻村外科病院 リハビリテーション科 言語聴覚士

3 出席教職員

氏名	職名
藪本恭明	校長
近藤達也	教学部長、理学療法科学科長
鈴木 武	総務部長
田中敏彦	教学部長補佐、作業療法科学科長
中村新一	臨床工学科 学科長
山田伊久子	言語聴覚科 学科長
鬼頭 宏	柔道整復科 学科長
太田晃二	総務部総務課 課長

3 委員会次第（概要）

(1) 開 会

(2) 校長挨拶

(3) 委員長の選出

評価委員全員のご了承をいただき、藪本校長を委員長に選出した。

(4) 平成27年度自己評価報告

出席教職員から「平成27 年度 学校自己評価表」の点検・評価項目達成状況及び取組状況について、課題及び改善策等を報告した。

(5) 学校関係者評価委員による意見等

基準1 教育理念・目的・育成人材像

- ・理念、目的、育成人材像の具体的な計画、方法については、引き続き実習指導者会議や教育課程編成委員等の外部委員の意見を取り入れ改善を図っていただきたい。

基準2 学校運営

ネット社会は情勢の広がりが高く、間違った情報も修正困難になるので、しっかりと管理されることを望む。

なお、学校運営について、以下の質疑応答があった。

- ・(質問) 老朽化した建物、設備の改修計画も予定されているか。
(回答) 予定している。まずは設備のリニューアルとして、エレベーターの2基のリニューアルを予定している。外壁の防水、塗装が今後必要になるため、建物全体の改修計画書を作成する予定である。また、教育機器、機材については、学科長に要望書を提出してもらい、必要性や優先度等を会議で検討して、購入している。
- ・(質問) 学生の意見、要望を述べる機会が与えられているか。
(回答) 地下1階の図書室の横に意見箱があり、匿名で意見、要望等を受け付けている。意見は、学科長会議で開示し、改善事項は掲示している。年2回、授業アンケートを匿名で実施、授業に対する意見や要望を確認している。
- ・(質問) 高校の生徒会にみたいな学生自治会組織はあるか。
(回答) 学科単位の学科会、同窓会があります。
- ・(質問) 大災害が発生した場合、帰宅困難な学生に対して、宿泊場所や水、食料の確保は考えられているか。
(回答) 昨年から、必要備品のリストアップをし、備蓄品の保管スペースの確保等、対策を検討している。今後は、毛布、食品等の購入に必要な経費を積算し、予算化して購入していく予定である。

基準3 教育活動

- ・学生に対して、学業だけでなく医療従事者としての人材像を明確にして育成に努めていることはとても評価できる。
教育課程においても日々進化している実情に合わせており問題を感じない。
一定数のリタイヤが出ることは仕方ないが、生徒を卒業させる努力を感じる。
- ・理学療法科。作業療法科。柔道整復科において教育で、必要な講義内容、実技講習実習に対して、学生がどれだけ前向きな姿勢で取り組むことができるかが重要である。それを把握するためのツールとして定期試験や授業評価があるため、そこから細かい情報を受取、適切に還元していくことが教育方針の安定に繋がると言える。

基準4 学修成果

- ・各学科とも就職率の向上や中退者に対するの対応が、取れている。ただ、中退者の理由が多種多様になっているため、広い視野を持って対応していただきたい。
- ・全体的に多くの問題点があることが判り。又それに対し対応されていることは判るが、

具体的な内容が判りづらい気がした。また、学力不足は昨年から言われているが、各学科や学生個人毎に何が問題で学力不足とっているのか、それぞれどう対応すべきなのか分析する必要があると言える。

基準5 学生支援

- ・学生支援については、更なる充実を図っていただきたい。

基準6 教育環境

- ・特に意見等はありませんでした。

基準7 学生募集

高校に対しては、過去三年間の入学及びオープンキャンパスの参加があった高校に対しての案内は良いが、それ以外の高校に対してもまだ認知されていない可能性もあるので案内したほうが良いと思う。

学生募集に関しては多様な入学試験を実施し、入学定員を遵守していることは良いことだが、柔道整復科と言語聴覚科の入学率が低すぎるための対策を考える必要がある。

資格取得や就職状況などの情報提供はしっかり配信されていると思う。学生納付金は同種の養成校と比較して比較的低い設定になっている。貴校は、医療関係者からの認知度は高く評価されているが、一般の人からの認知度はまだまだ低いと言える。予算が取れば新聞広告等で医療の国家資格が取得できる学校ということで認知度を高めていただきたい。

基準8 財務

- ・外部の監査法人が介入して財務管理されており、信頼できると言える。コスト削減を意識されている。人件費削減は教員の質を維持するためには慎重にされたほうが良い。で、人件費、管理経費の節約にも努めており健全な財務内容と判断される。

基準9 法令等の遵守

- ・引き続き努力してほしい。

基準10 社会貢献

- ・引き続き努力してほしい。

以上、評価委員より示された提言等については、所管部署において、改善策を検討するものとする。